



ねんげいだよ



vol.14
2012年 7月号

待望の全館開業



事務部長
武永 淳

松江赤十字病院では6月15日、平成22年春開業の入院部門に加えて外来部門も新しい施設での診療を開始し、いよいよ全館開業しました。建替え事業に着手したのが平成19年春ですので、今春4月末の低層棟（開業後は本館という呼び名にしました）

竣工まで足かけ6年という長い期間がかかり、加えて現地建て替えのため皆様には大変ご迷惑をおかけしました。

新しく完成した本館は地上6階建て、床面積は約10,000㎡で高層棟（全館開業後は高層館と呼びます）の約三分の一の広さというところです。6階までの各階で高層館と渡り廊下でつなぎ、すでに完成していた高層館屋上のヘリポートも全館開業にあわせて運用を開始しました。

本館は主に外来や管理部門で構成されます。1階正面玄関を入りますと待合も兼ねて天井吹き抜けのホスピタルモールがあります。ここの一部には災害時の対応のため中央配管が施されています。1階には診療室のほか健診センター、医事課や医療社会事業部などを配置しています。昇降のエスカレーターでつなぐ2階は外来診療のスペースです。この階に設けた化学療法室ではベッド数を5床から10床に増やしましたので、今後ご要望に応じていけるのではないかと考えています。（なお外来の診療科内容は従来と変わりませんが、全体面積の関係で待合スペースを含めてやや狭いのが難です）

3階は薬剤部門、研修医室、教育研修部門となっております。中央配管など病室と同じ機能を持たせた研修室はすでに幅広く活用され始めています。

4階は、院長室、副院長室や医局、そして事務室などからなっています。

5階は精神神経科の病棟となっております。病棟移転を機にベッド数を60床から45床に変更しました。

6階には講堂、会議室、カルテ庫、カンファレンス室などを配置しています。約200人を収容できる講堂は、視聴覚機能を備えたので多方面に幅広く活用されるものと期待しています。また、講堂にも災害用に中央配管が施されています。

こういった内容の本館と2年前から開業している高層館とで松江日赤は新しい歴史を刻み始めました。今後、地域と一層連携してより高度な医療サービスを提供してまいりたいと思っています。

ただ、建替え事業全体はまだ終わったわけではなく来年春までもう少しの間続きます。旧本館を解体して外構工事を実施するとともに、周辺整備や駐車場増設を行います。周辺を工事するため、交通規制や出入り制限など当分の間ご迷惑をおかけしますが何卒よろしくお祈りします。



写真で見る

本館(低層棟)案内

本館オ



6階講堂

収容人員約200名の大空間。窓側から見る市内や穴道湖の眺めはまさに絶景と言えます。しかし、大空間には理由があります。中央配管が施されており災害時には大人数を収容できる空間となります。



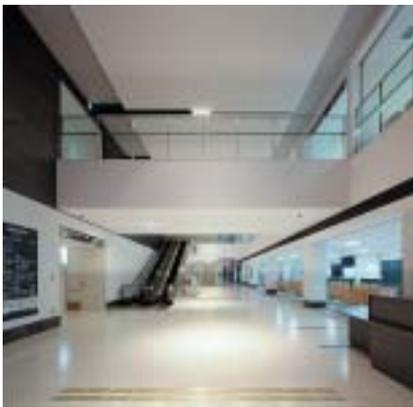
ブロック受付

従来の外来受付は、受診科ごとに受付がありましたが、受付の効率化を図るため、複数の診療科ごとにブロック受付を設けました。患者さまに分かりやすくご案内できるように、各ブロック受付はアルファベットの名前と色で区別しました。



受付カウンター

総合窓口では、入院受付、初診、計算、お支払い、文書受付、おくすりの窓口を1つにまとめました。また、総合窓口のすぐ反対側には、再来受付機、保険証確認を配置し、患者さまの動線に配慮しました。

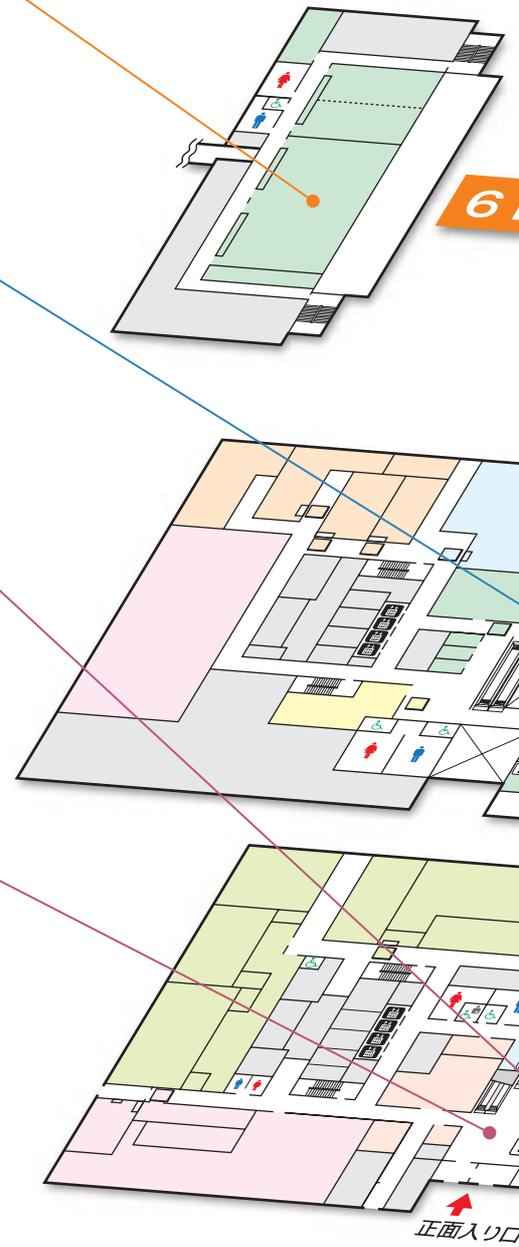


ホスピタルモール

吹き抜けのホスピタルモールは開放感に溢れ、ガラス張りの渡り廊下と一体となり広い空間となっています。ここにも理由があります。災害時には一部椅子を取り払い大人数を収容できる



空間となります。もちろん中央配管が施されています。さらに、2階フロアからは1階のホスピタルモールを見渡すことができます。



正面入り口

新任医師紹介

5～7月に新しく採用になった医師を紹介します。

麻酔科



丹藤 陽子

5月より、東京の同愛記念病院より参りました。患者さんには、痛みのない、負担の少ない麻酔を心がけています。よろしくお願いいたします。

小児科



吾郷 真子

この度、大田市立病院より異動となり、7月より小児科に勤務しております吾郷真子です。微力ながら皆さまのお役に立てるように頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。

心臓血管外科



仲原 隆弘

7月より京都大学病院から赴任しました。病診連携を通して、患者さんにとって住みやすい環境を作りたいと思います。よろしくお願いいたします。



5階南病棟 娯楽室兼食堂

和洋一体となった娯楽室兼食堂。車いすごとオープンテラスに移動することができます。食堂とテラスが一緒となり広い空間を演出しています。



5階南病棟 話所

開放病棟なので患者さんとの身近な会話を求め、オープンカウンターとしました。オープンカウンターの話所は精神科では全国的にも珍しいようです。



外来化学療法室

化学療法室は5床から10床へ増床となりました。今回の移転に伴い、患者さまにより快適な環境で治療を受けて頂くためにリクライニングチェアを導入しました。今後は多くの患者さまを受け入れる体制作りを行うとともに、満足いただける治療を提供してまいります。



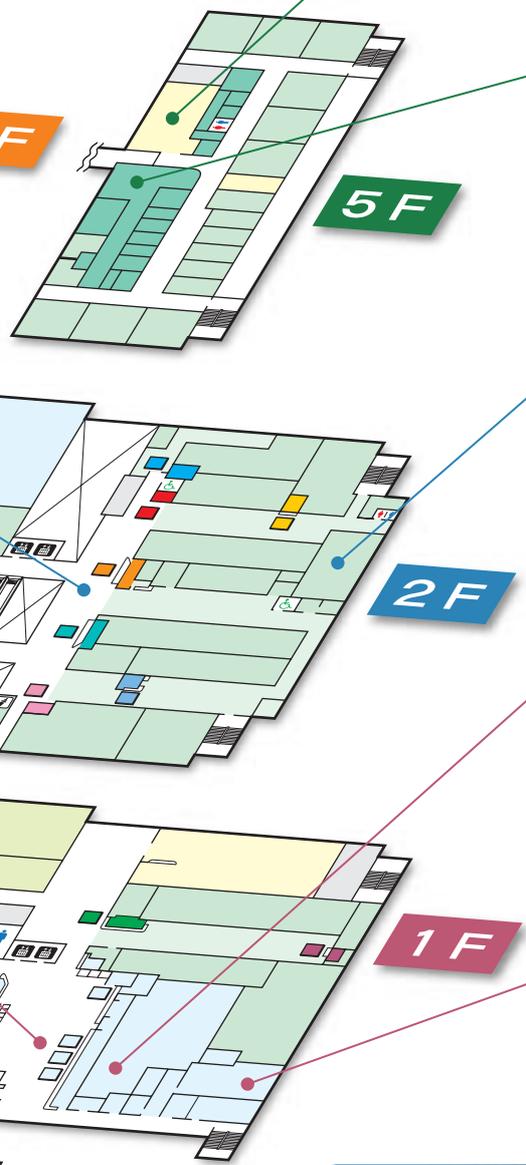
地域医療連携課

本館移転時から予約センター（再診予約の変更を担当）と一緒にになりました。受付カウンターの後部に位置しており、医事課と一緒にの空間となりました。



医療社会事業課

主に退院支援を行っています。その他がん相談支援センターを併設。災害救護や健康講座などの窓口にもなっています。



* 災害などによる停電時でも非常用電源で約3日半電力を提供することができます。

耳鼻咽喉頭頸部外科

竹内 薫

7月から耳鼻咽喉科に赴任して参りました。早くこちらに馴染んで松江の医療に貢献できるよう頑張りたいと思います。何卒宜しくお願い申し上げます。



嘱託医師 (研修医2)

尾川 陽

1日1日精一杯頑張りますので、どうぞよろしくお願いたします。



退職者

神経内科 部長	清水 保孝
心臓血管外科 副部長	瀬戸崎 修司
小児科 医師	小池 大輔
耳鼻いんこう科 医師	中村 陽佑
救急部 医師	兒玉 祐加子

平成24年度

第1回 地域医療支援病院運営委員会を開催しました。

去る6月7日(木)午後1時30分から「平成24年度第1回地域医療支援病院運営委員会」を開催しました。患者さんの状況や救急医療の提供について、講演会や研修会の実施状況などについて話し合いました。委員の先生からは救急医療の状況などについての質問が多く寄せられました。この「地域医療支援病院運営委員会」は地域医療支援病院の承認要件となっており、年4回の開催が義務付けられています。また、委員会は、医師会等の医療関係団体の代表者、病院が所在する都道府県、市町村の代表、学識経験者などから構成しています。

第14回

地域医療勉強会

報告

～ 訪問看護ステーションの看護師さんあつまれ～



さる7月5日と12日に「第14回地域医療勉強会～訪問看護ステーションの看護師さんあつまれ～」を開催しました。

「この呼吸音は何のサイン?」と題し、「フィジカルアセスメントモデルを用いての演習勉強会」を当院の集中ケア認定看護師を講師として行いました。普段使えるようポケット版のオリジナル資料を作成しました。

初めての企画ということもあって、参加者が定員オーバーでお断りした状況でした。参加者のみなさんの真剣なまなざし。そして研修後の小テストはほとんど正解。さすが現場力、と感心しました。今回の企画はもともとステーションのスタッフの「呼吸音を聴いても異常かどうか難しい」という一言から始まりました。今後も地域で活躍中の皆様と共に学んでいきたいと思っております。

研
修
会
等
の
バ
イ
案
内

外来糖尿病教室

9/19
水

10:00～13:30 低層棟講堂

「糖尿病と他の病気の
関連をさぐる」

- 糖尿病と骨粗鬆症
- 偏った食事になっていませんか?
～食事のバランスを確かめてみましょう～
- ワンポイントアドバイス 薬の飲み方の基本
- 体験談「一日一日を大切に」
- 食事会「秋を感じるバランスメニュー」

糖尿病・内分泌内科部長 佐藤 利 昭

管理栄養士(糖尿病療養指導士) 引野 義之

薬剤師(糖尿病療養指導士) 川谷 恭典

すこやか会会員 門脇 ミサエ

健康医学講座

8/23
木

14:00～15:30 本館(低層棟)6階会議室1・2

「もっと元気に!身体活動のすすめ～運動療法について～」

リハビリテーション科部長 笠木 重人

9/5
水

14:00～15:30 出張講座 県立図書館1階集会室

「吸わされていませんか?～本当に怖い受動喫煙の話～」

呼吸器外科部長 磯和 理貴

10/18
木

14:00～15:30 本館(低層棟)6階会議室1・2

「うつらない・うつさないための感染症予防～冬にむけての感染症対策～」

感染管理認定看護師 土江 和枝

松江赤十字病院 地域医療連携課

〒690-8506 松江市母衣町200番地

TEL 0852-32-7813 FAX 0852-27-9261

